

平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月6日

上場会社名 株式会社 技研製作所
 コード番号 6289 URL <http://www.giken.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 精男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部 部門リーダー (氏名) 南 直人
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 088-846-2933
 平成27年5月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第2四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	8,988	22.8	1,637	40.0	1,684	41.1	1,173	60.3
26年8月期第2四半期	7,316	60.0	1,170	1,018.0	1,194	564.2	732	1,140.6

(注) 包括利益 27年8月期第2四半期 1,290百万円 (61.6%) 26年8月期第2四半期 798百万円 (388.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年8月期第2四半期	55.36	54.82
26年8月期第2四半期	34.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	27,620	61.8	17,172	64.4		
26年8月期	25,035		16,164			

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 17,061百万円 26年8月期 16,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭				
26年8月期	—	7.00	—	17.00	24.00
27年8月期	—	14.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	17.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	18,600	25.0	3,160	46.3	3,200	45.4	2,000	38.8	94.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年8月期2Q	21,899,528 株	26年8月期	21,899,528 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年8月期2Q	692,276 株	26年8月期	692,276 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年8月期2Q	21,207,252 株	26年8月期2Q	21,207,372 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境としては、引き続き人手不足による労務費の上昇がみられるものの、発生から4年を迎える東日本大震災の復旧・復興工事の中で、沿岸施設の復旧工事がピークを迎えています（河川整備はほぼ完了）。また国土強靱化施策に基づく海岸・河川堤防等の社会インフラの事前防災や長寿命化対策などの公共事業の進展により、当社技術を必要とする市場は確実に拡大しております。

当社グループでは、圧入技術で杭を地盤に押し込み、地球と一体化した粘り強い構造物を構築する「インプラント工法」を早くから提唱し実践しており、国際圧入学会（IPA）や全国圧入協会（JPA）と協働し、科学に裏付けられた合理的で確かな建設技術として、その普及拡大に努めてきました。

当第2四半期連結累計期間には、津波を水路上に再現して各種実験を行う「津波シミュレータ」を開発し、高知本社内に設置しました。これは「インプラント工法」による構造物の耐津波性能を科学的に検証し、地震と津波による構造物の被災メカニズムの分析によって、従来の常識を超える新素材を用いた合理的で高度なインプラント構造物の構築を具体的に提案するために開発した装置です。今後は本装置をはじめ、実験装置の拡充を図るとともに、学校や外部の研究機関にもこれらを開放することにより、多様な目で科学に裏付けられた防災・減災技術としてのインプラント工法をさらに普及拡大していきます。

圧入工事事業におきましては、京都駅南口駅前広場に耐震地下駐輪場「エコサイクル」3基を納入しました。国際文化観光都市、京都市の玄関口にエコサイクルを設置した意義は大きく、「地上に文化を、地下に機能を」という同製品の開発コンセプトが都市計画の中で着実に浸透してきたことを実感しています。なお、京都市には市庁舎前にも2基を納入することが決定しており、既に着工しています。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,988百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。利益面においては、営業利益1,637百万円（同40.0%増）、経常利益1,684百万円（同41.1%増）、四半期純利益1,173百万円（同60.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,585百万円増加して、27,620百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金等の流動資産において865百万円、機械装置及び運搬具等の固定資産において1,719百万円の増加があったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,577百万円増加して、10,448百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金等の流動負債の増加1,578百万円に対し、長期借入金等の固定負債の減少1百万円の差引合計によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,007百万円増加して、17,172百万円となりました。これは利益剰余金等の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国民の視点に立った建設工事のあるべき姿「建設の五大原則」を遵守する圧入技術で、粘り強く機能を発揮する構造体を構築する「インプラント工法」を基軸とした当社グループの事業は、国土強靱化施策に基づく海岸・河川堤防等の社会インフラの事前防災や長寿命化対策などの公共事業の進展が見込まれることから、通期の連結業績予想を、売上高18,600百万円、営業利益3,160百万円、経常利益3,200百万円、当期純利益2,000百万円に修正することいたしました。

なお、平成26年10月8日の決算短信で発表しました通期の業績予想との差異は以下のとおりであります。

平成27年8月期通期連結業績予想数値（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,800	3,150	3,150	1,950	91 95
今回修正予想 (B)	18,600	3,160	3,200	2,000	94 31
増減額 (B - A)	800	10	50	50	—
増減率 (%)	4.5	0.3	1.6	2.6	—
前期実績	14,874	2,159	2,201	1,440	67 94

平成27年8月期通期個別業績予想数値（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,800	2,400	1,450	68 37
今回修正予想 (B)	13,300	2,700	1,670	78 75
増減額 (B - A)	500	300	220	—
増減率 (%)	3.9	12.5	15.2	—
前期実績	11,081	1,890	1,213	57 24

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,226,612	4,949,601
受取手形及び売掛金	4,053,908	6,407,070
製品	672,739	381,881
仕掛品	2,169,804	1,592,029
未成工事支出金	18,636	29,100
原材料及び貯蔵品	806,308	1,504,146
繰延税金資産	728,655	702,810
その他	357,514	337,934
貸倒引当金	△18,757	△23,662
流動資産合計	15,015,422	15,880,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,421,806	2,694,636
機械装置及び運搬具	5,260,049	6,131,165
土地	5,613,951	5,618,428
建設仮勘定	740,465	813,708
その他	565,831	651,451
減価償却累計額	△6,421,839	△6,699,351
有形固定資産合計	8,180,265	9,210,039
無形固定資産	44,256	38,513
投資その他の資産		
投資有価証券	193,784	721,835
繰延税金資産	390,325	365,693
その他	1,211,602	1,403,710
貸倒引当金	△362	△0
投資その他の資産合計	1,795,351	2,491,238
固定資産合計	10,019,873	11,739,791
資産合計	25,035,295	27,620,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,587,851	4,839,720
短期借入金	255,462	247,432
未払法人税等	1,009,533	489,536
賞与引当金	403,990	300,868
その他の引当金	10,531	29,615
その他	1,053,115	1,991,925
流動負債合計	6,320,484	7,899,097
固定負債		
長期借入金	1,224,744	1,103,558
製品機能維持引当金	505,169	574,132
退職給付に係る負債	4,004	4,004
その他	816,519	867,697
固定負債合計	2,550,436	2,549,392
負債合計	8,870,921	10,448,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240,431	3,240,431
資本剰余金	4,400,749	4,400,749
利益剰余金	8,866,389	9,679,806
自己株式	△302,545	△302,545
株主資本合計	16,205,024	17,018,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,928	20,567
為替換算調整勘定	△75,127	22,826
その他の包括利益累計額合計	△73,199	43,393
新株予約権	32,549	110,378
純資産合計	16,164,373	17,172,213
負債純資産合計	25,035,295	27,620,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	7,316,512	8,988,254
売上原価	4,547,461	5,458,862
売上総利益	2,769,051	3,529,392
販売費及び一般管理費	1,598,931	1,891,780
営業利益	1,170,119	1,637,612
営業外収益		
受取利息	574	7,760
受取配当金	1,014	1,250
不動産賃貸料	10,079	13,826
為替差益	40,120	38,207
その他	13,919	7,262
営業外収益合計	65,709	68,307
営業外費用		
支払利息	5,849	5,014
不動産賃貸費用	873	11,499
たな卸資産廃棄損	33,680	—
その他	1,372	4,943
営業外費用合計	41,775	21,458
経常利益	1,194,054	1,684,461
特別利益		
固定資産売却益	22,830	—
特別利益合計	22,830	—
税金等調整前四半期純利益	1,216,884	1,684,461
法人税等	484,561	510,521
少数株主損益調整前四半期純利益	732,323	1,173,939
四半期純利益	732,323	1,173,939

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	732,323	1,173,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,415	18,639
為替換算調整勘定	62,645	97,953
その他の包括利益合計	66,061	116,593
四半期包括利益	798,384	1,290,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	798,384	1,290,533
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。